

作成日 2014/09/22
改訂日 2018/07/30

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ダイキンプッ素化試薬F-51
製品コード	MEC51
整理番号	D1632-6
供給者の会社名称	ダイキン工業株式会社
住所	大阪府大阪市北区中崎西二丁目4番12号
担当部門	化学事業部 営業部
電話番号	06-6373-4345
FAX番号	06-6373-4281
緊急連絡電話番号	0479-46-2445

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	金属腐食性物質 区分1
健康有害性	急性毒性（経口） 区分3 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分1C

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素 絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
H290 金属腐食のおそれ
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H301 飲み込むと有毒

注意書き 安全対策

他の容器に移し替えないこと。(P234)
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)

応急措置

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
(P301+P330+P331)
皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
直ちに医師に連絡すること。(P310)
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。(P363)
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。(P390)
特別な処置が必要である。(P321)
耐腐食性内張りのある耐腐食性容器で保管すること。(P406)
施錠して保管すること。(P405)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

保管

廃棄

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学物質

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
IF5とpyridineとHFの錯体	100%	省略	なし	登録済み	なし

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合 粉体を吸入した場合は、十分にうがいをする。
本製品の加熱又は燃焼によって生じるフェームを吸入した場合は新鮮な空気の場所に移す。
必要に応じて医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合 多量の水と石鹼で洗うこと。
必要に応じて医師の処置を受ける。

眼に入った場合 直ちに清浄な水で15分間以上洗眼する。
水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
必要に応じて医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
必要に応じて医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

使ってはならない消火剤 水。

特有の危険有害性 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護 消火は風上から行い、蒸気、煙の吸入を避ける。
消火作業の際は、空気呼吸器を含め適切な防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 関係者以外は近づけない。
作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項 環境中に放出してはならない。
河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 物質を吸込み又は掃き取って廃棄用容器に入れること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
取扱い場所は禁煙とする。製品が付着した煙草の喫煙により分解ガスを吸入する恐れがあるので、煙草の持ち込みも禁止とする。
接触、吸入又は飲み込まないこと。

接触回避 『10. 安定性及び反応性』を参照。

衛生対策 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件 施錠して保管すること。
『10. 安定性及び反応性』を参照。
熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。

安全な容器包装材料 容器は直射日光や火気を避けること。
容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。
国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具 防塵マスク、簡易防塵マスク。
製品が加熱され、生ずる分解生成物中に人体が暴露される場合は有機酸性ガス用防毒マスク（場合によってはエアラインマスク）を使用する。

手の保護具 適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具 保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具 必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態 その他

形状 粉末

色 白色

臭い データなし

臭いのしきい（閾）値 データなし

pH データなし

融点・凝固点 データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲 データなし

引火点 引火せず

蒸発速度 データなし

燃焼性（固体、気体） データなし

燃焼又は爆発範囲

下限 データなし

上限 データなし

蒸気圧 データなし

蒸気密度 データなし

比重（密度） データなし

溶解度 データなし

n-オクタノール／水分配係数 データなし

自然発火温度 データなし

分解温度 データなし

粘度（粘性率） データなし

動粘性率 データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 情報なし

化学的安定性 加熱または燃焼すると分解し、フッ化水素などの有毒なフェームを生じる。

危険有害反応可能性 水との接触で分解し、フッ化水素などを発生する。

避けるべき条件 高温、加熱。熱源、裸火。

混触危険物質 水、微量金属

危険有害な分解生成物 フッ化水素等を発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性

経口 LD50 ≤ 300mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 データなし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	データなし
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）	データなし
水生環境有害性（長期間）	データなし
生態毒性	情報なし
オゾン層への有害性	データなし
その他	環境残存性の恐れがあるため、漏洩、廃棄などの際には、取り扱いに注意すること。

1 3. 廃棄上の注意

適切な保護具を着用する。
地方条例や国内規制に従う。

残余廃棄物

廃棄は耐酸性の焼却炉にて800℃以上で焼却し、フッ化水素等の燃焼排ガスの処理対策を講ずる。
処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に焼却処分を委託する。
毒物及び劇物取締法の廃棄の方法に関する基準に従うこと。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	I M Oの規定に従う。
UN No.	2923
Proper Shipping Name	CORROSIVE SOLID, TOXIC, N. O. S.
Class	8
Sub Risk	6. 1
Packing Group	III
Marine Pollutant	Not applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code	Not applicable
航空規制情報	I C A O / I A T Aの規定に従う。
UN No.	2923
Proper Shipping Name	CORROSIVE SOLID, TOXIC, N. O. S.
Class	8
Sub Risk	6. 1
Packing Group	III

国内規制

陸上規制	該当しない
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号	2923
品名	その他の腐食性物質（固体）（毒性のもの）

国連分類	8
副次危険	6.1
容器等級	III
海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号	2923
品名	その他の腐食性物質（固体）（毒性のもの）
国連分類	8
副次危険等級	6.1 III
特別の安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れ防止措置を確実に行う。 移送時にイエローカードの保持が必要。
緊急時応急措置指針番号	154

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	毒物（指令第1条）
船舶安全法	腐食性物質（危規則第3条危険物告示別表第1）
航空法	腐食性物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）
港則法	その他の危険物・腐食性物質（法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）

16. その他の情報

本製品は、試験研究用途にしかご使用いたしません。

その他 当製品は、工業用途として開発されたもので、それ以外の使用について、その安全性を保証するものではありません。本製品を医療用途、食品用途などにお使いの場合は弊社まで事前にご連絡ください。このSDSは、一般的な取扱いを前提に作成したものです。取り扱う際は、ここに記載されている内容を参考にし、十分注意して取り扱ってください。また、記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の情報は保証値ではありません。危険有害性情報は、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、新しい知見に基づき改訂されることがあります。

変更点 「2. 危険有害性の要約」に変更があります
 「11. 有害性情報」に変更があります
 「12. 環境影響情報」に変更があります
 「15. 適用法令」に変更があります